

## JENDL-3.2

JENDL-3.2は、今年の6月に編集を完了し、利用できるようになった。データは、ENDF-5フォーマットとENDF-6フォーマットで編集した。全部で340核種のデータが格納されており、何れのフォーマットでも、約108万レコード(86 Mバイト)のデータ量である。共鳴パラメータを処理し、point-wise fileも作成した。共鳴パラメータの処理は、RESENDとRECENTを用いて行った。断面積曲線の精度は0.1%とした。温度は0 Kと300 Kとし、300 Kの断面積はSIGMA1を用いて計算した。0Kのデータは、共鳴パラメータがある核種全てに対して、ENDF-6フォーマットで格納しており、全部で約630万レコード(500Mバイト)ある。これには、断面積だけでなく、共鳴パラメータ、角分布、エネルギー分布なども与えてある。一方、300Kのデータは、340核種全部に対して断面積だけを与えた。

6月以降、JENDL-3.2に編集上の間違いが見つかったので、以下に示す修正を行った。

核種	修正日	修正箇所
$^{92}\text{Zr}$	7/08	共鳴パラメータ、弾性散乱断面積と非弾性散乱断面積。
Pb	8/08	共鳴パラメータが $^{207}\text{Pb}$ 、 $^{208}\text{Pb}$ 、 $^{204}\text{Pb}$ 、 $^{206}\text{Pb}$ の順になっていたので正しい順序に並べ替えた。断面積の計算には影響無し。
$^{229}\text{Th}$ , $^{238}\text{U}$ , $^{240}\text{Pu}$ , $^{242}\text{Pu}$ , $^{242\text{m}}\text{Am}$ , $^{242}\text{Cm}$ , $^{243}\text{Cm}$ , $^{244}\text{Cm}$ , $^{245}\text{Cm}$ , $^{248}\text{Cm}$ , $^{249}\text{Bk}$ , $^{250}\text{Bk}$ , $^{249}\text{Cf}$ , $^{250}\text{Cf}$ , $^{251}\text{Cf}$ , $^{252}\text{Cf}$		
	7/	共鳴パラメータに関するflag (LFW)を修正。断面積の計算には影響無し。

この中で、 $^{92}\text{Zr}$ 以外は重要な修正ではない。7月8日以前に、 $^{92}\text{Zr}$ のデータを使用した方は再計算が必要である。なお、天然Zrのデータには編集ミスはなかった。

JENDL-3.2は、日本原子力研究所の大型計算機上に格納してあるので、本誌41号(1992年2月)で紹介した方法で検索が可能である。また、ENDF-5フォーマットのデータと、0Kのpoint-wiseデータが、核データセンターのWSに格納されており、こちらも容易に検索が可能である。データの利用を希望される方は、核データセンターへ連絡してください。